

△市内米軍施設の現況等について

◆（加納委員） 私からも時間を気にしながら。まず、個別相談、たしか4月18日が締め切りで終わったと思うのですが、何人ぐらいの方が個別相談について申請したように言われているのですか。瀬谷区側と旭区側とどうなっているかだけ教えてください。

◎（青木基地担当理事） 個別相談会は瀬谷区役所で4月25、26、27日の3日間行う予定でございます。相談の申し込みでございますけれども、上瀬谷農業専用地区協議会の方からは8名、上川井農業専用地区協議会からは3名、合計11名の方から予約をいただいております。

◆（加納委員） それから、前回のアンケート調査ありましたよね。先ほど来から話があって、40%の人が今後、耕作を継続したいというアンケート結果ですけれども、もう一方で36.1%、約37%の方たちが未回収になっていますよね。これについて今後どうするのか。いわゆる大きな数字ですからね、37%というのは。この人たちの未回答を無視して物事を進めるのはいけないでしょうから、これについてはどのようにお考えになっているのか。

◎（青木基地担当理事） 本当に今加納委員御指摘のとおりでございます。前回、確かに未回収のパーセンテージも多かったですし、その他ということで、アンケートにはお答えいただいたのですが、その部分については空欄で回答をいただいている方もおられるものですから。今回、6月からの個別の面談をやって、こちらの考えを御説明した上でお聞きして、その上で意向調査を改めて行いますので、加納委員おっしゃったように、できるだけこの未回収の部分の大きいと全体の意向になりませんので、ここをできるだけ少ない数字にしていきたいなと思います。

◆（加納委員） 40.7%は今後の耕作と言われているのだけれども、未回収が36.6%で、その他が4.4%で、同じようなパーセンテージの方たちが何らかのしつかりとしたものを持たれてないことがあるみたいで、これは意向調査を進める形でしつかり意見を聞いていただきたい、これを一つお願いしておきます。

それから、先ほど来委員の方からいろいろ御指摘ありました。この跡地計画について今いろいろ議論している中で、やはり瀬谷のあの地域は都市農業、大変古くから一生懸命頑張って活発に進めていられてね。地産地消も含めて、横浜市の大変大きな都市農業の生産地というか主要のところなのですね。したがって、そこはきちんと見据えていただいて、全庁的に都市農業の推進が図れるようなことを踏まえながら、物事を考えていただきたいことを要望しておきます。

その上で、今回環状4号線が開通しました。この環状4号線の右と左にトラクターが行ったり来たりとか何往復かしていたのだけれども、あれだけの開通で交通量がふえている中で、そういったものは地域から出てないですか。

◎（青木基地担当理事） やはり地域といいますか農家の方から、トラクターのスピードが遅いものですから、横断するとき事故の心配があるとか、あるいは環状4号線自体をトラクターで走らなければいけないようなところに農地のある方がおられますので、そのとき後ろが車をつかえるので、何とかしてほしいという話がございます。

そんな中で、今後、農業振興をやっていくときに農道の整備も当然検討していく事項でございますので、御要望にお応えできるように、そういったことも検討していきたいなと思っております。

◆（加納委員） それから、あそこの地下でうどをやっていますよね。あれについてもさまざま議論をして今押し進

めていられるのだけれども、現時点で、これだけ環状4号線が開通して、今さまざまな計画で物事が進んでいる中で、あのうどについて現状どうなっていて、今後計画どおりいくのかどうか、その辺についてはどうでしょう。

◎（青木基地担当理事） うどにつきましては、国有地を借りて、うど農家の方々が今栽培されておりますけれども、昨年6月から3年間、国有地をお借りして栽培できることになっております。ただ、最後の1年間は原状に戻してといたしますか、今の施設を撤去して国には返すことになっておりますので、あととしが終われば、来シーズン1年で国有地を使つての栽培は終了することになります。ただ、代替といたしまして、今関東地方でもいろいろと工夫してうどの栽培をやってございますので、現地を視察に行ったりということを農政サイドと農家の方々が今やっているところでございます。

◆（加納委員） そういうことも含めて都市農業を推進するということで、今後のこともあるけれども、今現在お困りの部分がたくさんあるから、そういうこともしっかりと声を聞いていただいて、あそこの都市農業の推進を図っていただきたいと考えております。

次に、花上委員もおっしゃっていたけれども、やはり瀬谷としてはあそこはスポーツの、ある意味では大きな中心拠点なのですね。野球だけではないのですけれどもね。そういった部分では、スポーツやサッカー、ゲートボール、いろいろな部分の瀬谷区内におけるスポーツ振興の大きなかなめでもありますね。こういったことも踏まえて、今後の跡地利用については、しっかりと全庁的に考えていただきたい。もう時間がないので、要望だけしておきます。

それから、たしか文献調査の話も出ました。あそこは米軍に接収される前に旧日本軍、日本海軍も使用されていたということもあって、さまざまなお話を地元から聞いています。いわゆる化学兵器の問題など含めて。ですから、文献調査の結果をやはりきちんと防衛省から聞いていただいて、横浜市が旧海軍のさまざまな使い勝手の問題はどうかだったのかとか、それから米軍の地下の使い勝手がどうかだったのか、しっかりと情報としてもらっていただきたい。できる限りそれは開示してもらいたい。そこで、あそこは今土壌調査しているけれども、あの施設、今言っているところからの土壌汚染はないのですかね。あるのですか。

◎（青木基地担当理事） 昨年度に防衛省で文献調査をして、その結果については地元説明会も行われたところでございます。また、横浜市にも説明はございましたけれども、その資料自体は民有地の中に今加納委員おっしゃった旧日本軍時代の倉庫や、あるいは鉄道で運搬していたようですので、レールなどいろいろなものがあって、今耕作されている民有地の中にもそういう施設がありますので、そういう意味では個人情報にかかわることなので、資料は回収されております。

確かに、本当にすごい関心の高いことではございますけれども、そういった民有地の個人の財産にもかかわることなものですから限界もあるのかなと。ただ、公開できることについてはできるだけ公開していきたいと思っております。

◆（加納委員） 最後です。本当に郊外区の中でもあれだけ平たんであれだけの広大な土地というのはなかなかもう出てこないでしょうし、地権者の皆さん方の声も聞きながら、横浜市としての非常に大きな財産でもありますから、そういったことを踏まえながら、全庁的に物事を進めていただきたいということを要望して、私の質問を終わります。